



Title	2016年度活動記録
Author(s)	
Citation	大阪大学歴史教育研究会 成果報告書シリーズ. 2017, 14, p. 39-40
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/62177
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2016 年度活動記録

■大阪大学歴史教育研究会・2016 年度例会（*所属・職名は報告当時のもの）

第 95 回例会（2016 年 4 月 16 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科教授）「高校歴史教育・入試改革の動向と大阪大学歴史教育研究会 2016 年度方針」

岡本充弘（東洋大学人間科学総合研究所客員研究員）「歴史の作り手・オーディエンス・媒体」

第 96 回例会（2016 年 5 月 21 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

藤村泰夫（「地域から考える世界史プロジェクト」代表・山口県立宇部西高等学校教諭「地域から考える世界史」と今後の歴史教育—「歴史総合」「探求世界史」「探求日本史」での活用について—」

村井良介（神戸大学地域連携推進室学術研究員）「戦国大名権力研究の視角—戦国期の特質をめぐって—」

第 97 回例会（2016 年 6 月 18 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

市 大樹（大阪大学大学院文学研究科准教授）「古文書学から史料学へ—日本古代・中世史の研究分野を中心に—」

後藤敦史（大阪観光大学専任講師）「地図からみる日本の空間認識」

第 98 回例会（2016 年 7 月 16 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

栗原麻子（大阪大学大学院文学研究科准教授）「公と私、男と女、そしてアテナイ民主制」

水野祥子（下関市立大学経済学部経済学科教授）「イギリス帝国の環境史」

第 99 回例会（2016 年 10 月 15 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

大阪大学大学院文学研究科大学院生によるグループ報告

(1) 杜 雨霏（東洋史 M1）・八木啓俊（東洋史 M1）・斉藤 誠（西洋史 M1）・丸岡大祐（日本史 M1）「高校日本史教科書における日明関係再考」

(2) 川瀬陽介（西洋史 M1）・加納晴日（美学・文芸学 M2）・高木亮太郎（共生文明論 M1）「「鎖国」体制下における日本の歴史展開—「外」との相互作用の中で—」

第 100 回例会（2016 年 11 月 19 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

中村 翼（大阪大学大学院文学研究科助教）「映画「もののけ姫」を用いた大学教養教育としての日本中世史概説の試み」

高木純一（大阪大学大学院文学研究科特任研究員）「里山・棚田・鎮守の森 ―日本の村と「日本の原風景」を考える―」

第101回例会（2016年12月17日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館2階大会議室）
伊藤一馬（日本学術振興会特別研究員PD）「『宋代中国』史の捉え方――10～13世紀の「中国」と「周辺」」
藤川隆男（大阪大学大学院文学研究科教授）「妖獣バニヤップの歴史―オーストラリア先住民と白人侵略者のあいだで」

第102回例会（2017年1月21日、会場：大阪大学豊中キャンパス芸術研究棟1階芸3講義室）
古谷大輔（大阪大学大学院言語文化研究科准教授）「世界史における「礫岩のような政体」論の視座～中世史と近代史のミッシングリンクを求めて」
三田昌彦（名古屋大学文学研究科助教）「近年の南アジア前近代史研究と高校世界史教科書」

第103回例会（2017年3月18日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館2階大会議室）
『新しく学ぶ西洋の歴史―アジアから考える』合評会
第1部 書評
（1）森本慶太（大阪大学大学院文学研究科助教）
（2）富田 暁（岡山大学客員研究員）
（3）久保田裕次（大阪大学大学院文学研究科招へい研究員）
第2部 執筆者のリプライと質疑討論

■教員組織・学会・自治体と連携した活動

「日本と世界が出会うまち・堺 2016」プロジェクト

堺市博物館と大阪大学歴史教育研究会の共催事業として、堺の国際交流の歴史などにスポットをあてた「日本と世界が出会うまち・堺 2016」プロジェクトを実施し、2016年11月20日に研究発表・講演会を開催した（会場：サンスクエア堺ホール）。